1 経営方針	確かな学力・豊かな心・健やかな体を育み、家庭・地域と連携した、子供の「新しい時代を生き抜く学び」の創造 ～みんなの力で、みんなでつくる、アクティブ長洲小～		
2 学校像	よき伝統を継承し、新たな特色を創造し続ける学校（教職員） ○子供、保護者、地域住民から信頼される学校（教職員） ○美しく整備された落ち着いた学校（教職員） キーワード：主体性 協働性 創造性		
3 子供像	地域の一員として何ができるかを考え実践できる子供 アクティブピープル（実践力）		
	進んで学び合う子供 アクティブラーニング（知育）	進んで関わり合う子供 アクティブパーティー（徳育）	進んで体づくり暮らしづくりをする子供 アクティブライフ（体育）

4 自己評価結果【評価基準】 3.5以上：十分達成している 3.4～3.0：おおむね達成している 3.0未満：課題がある

領域	評価項目	達成状況及び分析・対策	児童	保護者	職員	CS委員	学校関係者評価委員の意見
学校教育目標	長洲小は、学校の教育目標や方針及び学校の様子等を通信やHPなどで保護者や地域に分かりやすく伝えている。	【結果】 ・児童・保護者の数値がわずかに低下。 【分析・対策】 ・子供から確実に配付物が届くように、継続して指導をしていく。	3	2.9	3.5	3.1	・HPが知られていないのではないかな。
	長洲小は、自ら学び、自らつながり、よりよく生きようとする子供の育成を踏まえ、授業や行事など学校教育活動において、「主体性」を意識した創意・工夫に取り組んでいる。	【結果】 ・教員が0.2ポイント上昇。その他は変化なし。 【分析・対策】 ・昨年度、保護者の数値の落ち込みが大きかったが、今年度は、特に変化が見られなかった。引き続き、子供の主体性を重視した授業スタイルの啓発を継続していく。	3.1	2.9	3.4	3.4	
学習指導	長洲小は、「わかる」「できる」を実感させる楽しい授業を行っている。	【結果】 ・三者を総合的に見て、昨年度とほぼ変わらない。 【分析・対策】 ・昨年度と校内研メインテーマは変わっていない。公開授業は、本年度は教科を焦点化せず、職員にとって学びの場は広がっている。引きつづき、実践を積んでいきたい。	3.1	3.0	3.1	3	・一人一人の能力に応じた教育程難しいものはないと思います。九九、漢字などは個人差があり、心配する部分もあります。 ・家庭での親の負担も少しはあるのかなと思う時があります。両親が忙しいのか、学童保育に筆箱なく鉛筆一本を持参といったことも多々あります。 ・ICT化、タブレット、スマホ等に興味が多く、読書離れにならないようこれまで以上に取り組んでほしい。
	長洲小は、一人一人の個に応じた学習指導や評価を行っている。	【結果】 ・全体的に傾向は昨年度とほぼ変わっていない。 ・教員の0.11ポイントの上昇に対し、児童・保護者は0.11ポイント低下。 【分析・対策】 ・個別学習の時間、学力充実タイムの時間は、ある程度確保できている。朱書きを充実したり、複数による指導体制をさらに充実させたりしていく。	3	2.7	3.3	3	
	長洲小は、自ら家庭学習に取り組む態度を育てている。	【結果】 ・本年度より、家庭学習と読書の質問項目を分けて実施した。参考値と比較し、保護者の値が0.2ポイント上昇。 【分析・対策】 ・昨年度は、保護者より「宿題の量が少ない」という声が寄せられていたが、そうした声は聞かれなかった。子供の取組を前向きに捉えている保護者が増えつつあるのではないかな。	2.9	2.8	3.0	2.9	
	長洲小は、読書に親しむ態度を育てている。	【結果】 ・教師の3.3ポイントに対し、児童は2.7ポイントと差が大きい。 【分析・対策】 ・教師は図書館の利用や貸出しの指導等に積極的に取り組んでいるものの、児童は「させられ感」が強いことが考えられる。児童自ら読書に親しむ態度の育成について、委員会活動の取組にも力をいれていく必要がある。	2.7	2.8	3.3	3.1	
学校行事	長洲小の学校行事は、子供達の成長につながっている。（運動会、リレー大会、持久走大会、避難訓練、人権集会等）	【結果】 ・三者の平均値は3.4で、全項目の中で最も高い。 ・昨年度、保護者の低下が目立ったが、今年度は変化は少ない。教員は3.8ポイントと項目中最も高い。 【分析・対策】 ・平均値は昨年度と変わらず、高い値を維持している。	3.3	3.2	3.8	3.8	・コロナ禍ではあったが、一つ一つが工夫され効果的であったと思う。 ・学校行事に子供達が積極的に関わっている。
生徒指導	長洲小は、子供の自立を促したり、主体性やよさを伸ばしたりする指導をしている。	【結果】 ・平均は参考値と変わらないが、保護者、教員の数値が上昇。 【分析・対策】 ・今後も、自主性の伸長に向けた学級、学校の取組や子供の成長の姿について発信をしていく。	3.2	2.9	3.3	3.7	
人権教育	長洲小は、いじめや差別をなくそうとする取組を行っている。	【結果】 ・保護者の数値は変わらないが、児童・教員の数値が上昇。 【分析・対策】 ・教員の熱意が児童にも響いていると思われる。二者に比べると、保護者の意識は低いが、子供の捉えや姿を通して、保護者の意識も変容していくことが期待される。日常実践を継続していく。	3	2.8	3.6	3.5	・学童で限ったことかもしれませんが、学校からの解放感からか、小競り合いなどの衝突場面が多いです。 ・いじめに関しては、なかなか難しい課題ではあるが、中学校に向けて是非とも小学校のうちに解決しておきたいと願う。 ・町と地域、中学校、幼保小と切れ目のない人権教育が発信されている。
	長洲小は、保護者や地域に対して、人権教育の大切さやその実施状況を発信している。	【結果】 ・児童・職員の値に対し、保護者の数値が低い。 【分析・対策】 ・教員の3.0の数値に対し、児童は3.2と高く、学校での取組の成果が教員の意識以上に児童に反映していると言える。 ・ほかほか言葉大作戦の前のアンケート調査であった。学校・家庭の共通実践である本作戦を学校評価前に実施しておきたい。	3.2	2.8	3.0	3.3	

道徳・心の教育	長洲小は、命や思いやりの心、感謝の心等を育てている。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三者の総合平均は昨年度と変わらないが、職員の値が伸びている。 保護者の数値が、3.0を下回り落ち込みが大きい。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度、道徳公開授業を学校評価後に実施。授業参観としてではなく、時間を学級で設定した。「熊本の心」「つなぐ」を活用した道徳授業の案内やPRが足りなかったことも要因である。 	3.2	2.9	3.3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 「礼節、規範意識」の語句が難しく、「あいさつ」「ルール」など分かりやすい表現に変えてほしい。 あいさつ運動は素晴らしいと思う。
	長洲小は、礼節や規範意識を育てている。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問項目11番同様、児童・教員に対し、保護者の数値が低い。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、教員の取組が充実している。取組の発信を継続していく。 	3.1	2.8	3.3	3.1	
教育環境	長洲小は、掃除や整理整頓、ICT機器等の環境が整備されている。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度と三者ともに全く同じ数値。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレット活用場面は、低学年から高学年まで、実態に応じて活用が進んでいる。今後、学年が進むにつれ、これまでの経験や身に付けたスキルが学習場面で生かすことができる。教員も共に研修やスキルアップをしながら、今後も進めていく。 使用頻度が高くなるほど、機器のメンテナンス等が課題となる。ICT支援員との連携も同時に充実させていく。 	3.1	2.9	3.2	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ICTに関しては、これからどのように使用していくのか、これから重要なので、他の項目とは分けて問いを設定してほしい。 校区外での言葉づかいや、正しい言葉遣いについて家族全員で考えてほしい。
	長洲小は、場に応じた言葉づかいの指導を行っている。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員をのぞき、児童、保護者ともに0.2ポイント数値が低下。 保護者の数値が2.6は、全項目のなかで、最も低い数値である。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校では重点事項として言語環境の充実にか力を入れているものの、家庭での意識は低い。その改善策の一つとして、「ボカボカ言葉」大作戦があるが、学校評価アンケート後の実施のため、その成果や反応を捉えたいところである。次年度は、取組の時期、回数について工夫したい。 	3.2	2.6	3.2	3.3	
安全管理	長洲小は、交通事故・不審者・校内生活等の指導や施設等の安全管理を行っている。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の数値が0.3ポイント上昇。 平均値は3.3と他の項目に対し高い。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三者とも3.0ポイント以上で、一定の成果だと言える。 本年度の引き渡し訓練は、地域の方の参加も可能となった。保護者への児童引き渡しは、年を重ねるたびにスムーズになってきている。 	3.4	3	3.5	3.5	
保健管理	長洲小は、運動、食事、睡眠に対する意識を高める指導をしている。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が0.3ポイント昇。 三者とも3.0ポイント以上で安定して高い。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健だよりによる啓発、各学級での保健指導は昨年同様充実している。家庭での保護者の協力が得られるよう、PTAの取組の工夫についても働きかけていく。 	3.2	3.0	3.3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策については、メールの内容を工夫した方がよい。
	長洲小は、感染症対策の徹底に努め、感染拡大予防に取り組んでいる。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童は3.4、教員は3.88と高い数値である。 二者に比べ、保護者は、2.9ポイントと低めであるが、平均は3.4と項目7と同様最も高い。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症については、国の指針や学校の実態を踏まえ、その都度、手立てや方向性が確実に共有され実践できるよう、引き続き取り組んでいく。 	3.4	2.9	3.8	3.3	
家庭・地域との連携	長洲小は、保護者との相談や地域との情報共有に積極的に取り組んでいる。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に比べ、三者ともに数値が上昇。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域と情報共有を行い、学校家庭の連携が確実に前進していると言える。 電話、通信、HP、安心安全メール等の活用と併せて、今後さらに直接対面の機会を充実させていく。 	3.1	2.9	3.3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に参加型の授業や、日常の参観機会について情報を発信したり、直接保護者とコミュニケーションをとったりする機会をとってほしい。 メールの活用や町を通しての連携ができていると思う。
キャリア教育	長洲小は、子供が自分の将来に目標や夢を持つような取組を行っている。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が2.0ポイント上昇する一方、児童は0.2ポイント低下しており、意識にずれがうかがえる。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリアパスポートのに取り組んでいるもの、児童に価値や有用性がうまく伝わっていない面があると思われる。児童自身が、キャリアパスポートから、伸びや成長を実感する場面を増やすとともに、保護者への啓発にも取り組んでいく。 	3.1	2.7	3	3.3	
働き方改革	長洲小は、児童と向き合う時間の確保に取り組んでいる。	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度と比較し、教員、保護者の二者が0.2以上上昇。 <p>【分析・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の取組が保護者にも実感として伝わっている。昨年度は数値が大幅に低下し保護者の理解が得られていない面がうかがえたため、本年度は大きな成果と言える。引き続き、これまでの方向性を継承しながら取り組んでいく。 	3.3	2.9	3.3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ますます必要な事柄だと思うが、個々の子供に寄り添うことも忘れてはいけないと思う。